

第14回定時総会

すべては
子どもの“安心・自信・自由”に！



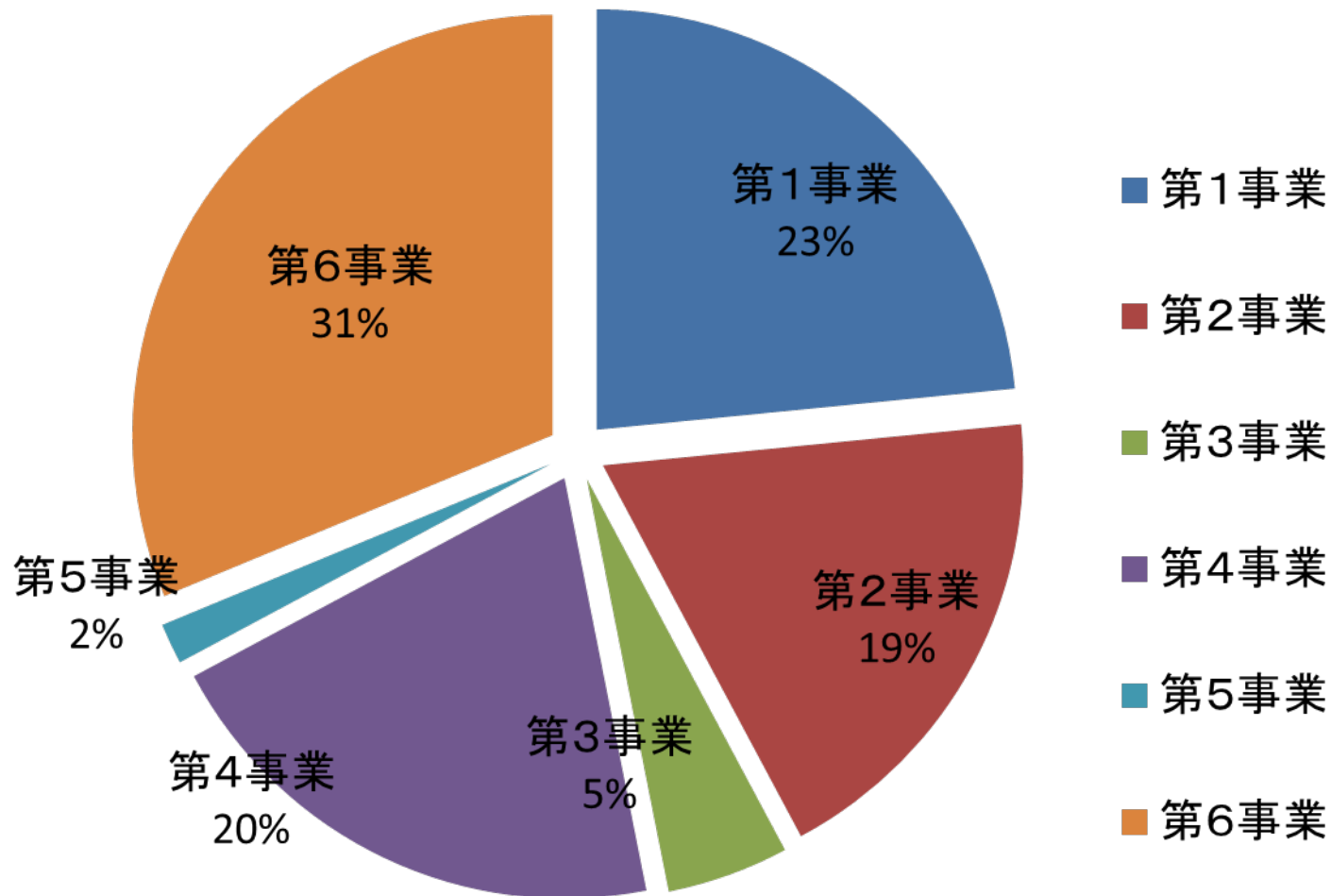
2015年5月30日(土)
NPO法人CAPセンター・JAPAN

第1号議案

(1) 2014年度特定非営利活動に係る事業報告

2014年度実施した事業

64の事業を実施



CAPトレーニングセンターとして

◆ CAPスペシャリスト養成講座(第1事業)

新CAPスペシャリスト44人は
1年間のフレッシューズサポートを受け、
52%の方がグループに所属。(計3回55人受講)



◆ CAPスペシャリスト研修(第1事業)

1. ネットコミュニケーションの時代を生きる
2. 社会的養護の現場でのCAPの有効性と課題
3. 資格更新のための必須研修(トークタイム研修)



◆ 社会的養護の現場へのプログラム提供 (第6事業)

(フィリップモリスジャパン社助成7年目+GiveOne)
46施設に183プログラム提供。
2,009人参加(18グループ実施)



2014年度CCJエリア実践報告(速報値)

CAPワークショップ実績(～2015年3月まで)							
	子ども ワークショップ		おとな ワークショップ		ワークショップ		提出
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	
2009年度	6,439	189,775	2,280	56,575	8,719	246,350	88
2010年度	4,532	130,805	1,740	43,649	6,272	174,454	78
2011年度	4,502	126,436	1,822	43,088	6,324	169,524	85
2012年度	4,088	110,841	1,756	43,202	5,844	154,043	87
2013年度	3,845	100,058	1,625	38,507	5,470	138,565	87
2014年度 (速報値)	3,261	84,253	1,357	30,976	4,618	115,229	79

※2014年度分は5月30日時点での速報値です。確定値は後日公表となります。

啓発講座 (第2事業)

- ◆ 子どもへの暴力防止のための基礎講座
(計6回128人受講)



NEW!

- ◆ 幼児期の子どもの生きる力を育む
-子育て支援講座 (計2回40人受講)



◆Facebook いいね！現在441 リーチ最高,3,800

- ・日々の子どもに関する事件や出来事を
子どもの視点で読み解く
- ・事業の案内と報告



◆Twitter

- ・CAPプログラムの紹介
(参加した子ども、おとなの声)

啓発ツール(第4事業)

◆CAP版チャイルドビジョン

(幼児期の子どもだけに見える世界・模擬体験メガネ)

◆チャイルドビジョンのうた



寄付事業

◆READYFOR? (レディーフォー) (第4事業)

子どもだけに見える世界

「チャイルドビジョンのうた」CD制作



◆Give One (ギブワン)

1. 児童養護施設の子どもに“あなたは大切”と伝えよう (第6事業)
2. “児童養護施設で暮らす子どもたちの声”を届ける (第4事業)

連携事業 (第6事業)

- ◆ 体罰をみんなで考える
ネットワーク



- ◆ 子どもの権利条約フォーラム(東京)
- ◆ 子どもの権利条約フォーラム関西

- ◆ ISPCAN/JaSPCAN
(子ども虐待防止世界会議)
(日本子ども虐待防止学会)



社会指標づくりプロジェクト

[指標のめざすこと]

子どもの育ちに関わるおとなが、

(1) 意識化し、子どもの育ちの環境を日常的に
整えようと努め続けること。

(2) 共通認識を持ち、日常生活の中で
子どもが自分を大切な存在と実感できる
よう意識し続けること。

それによって子どもが、

(1) 自分の大切さを実感できる場ができる。

(2) 子どもの心とからだを傷つけること(暴力)
に対するレジリエンスを高めることができる。

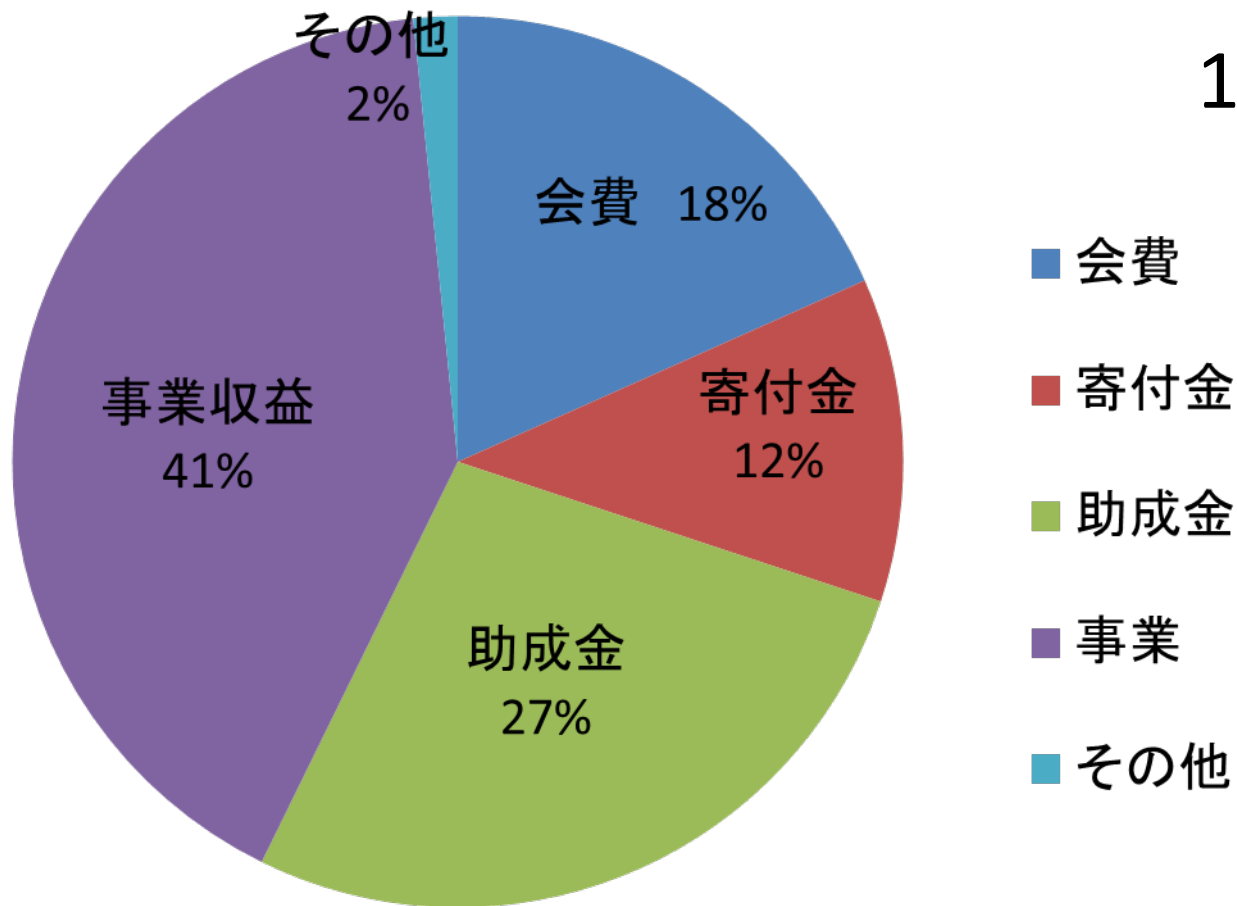


第1号議案

(2) 2014年度特定非営利活動に係る会計報告

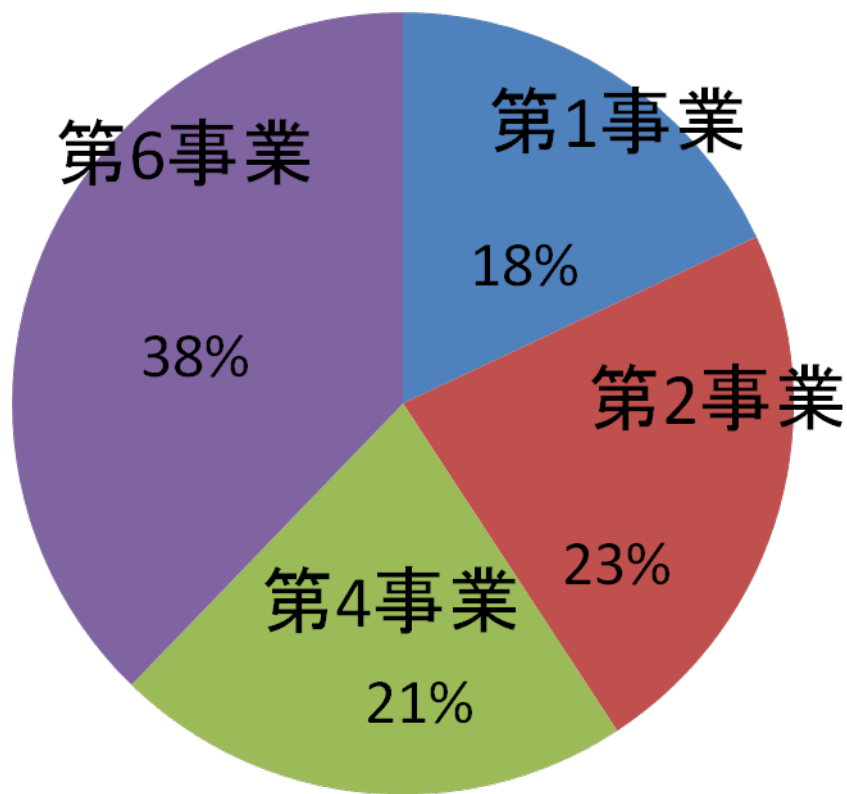
2014年度経常収益

18,517,084円

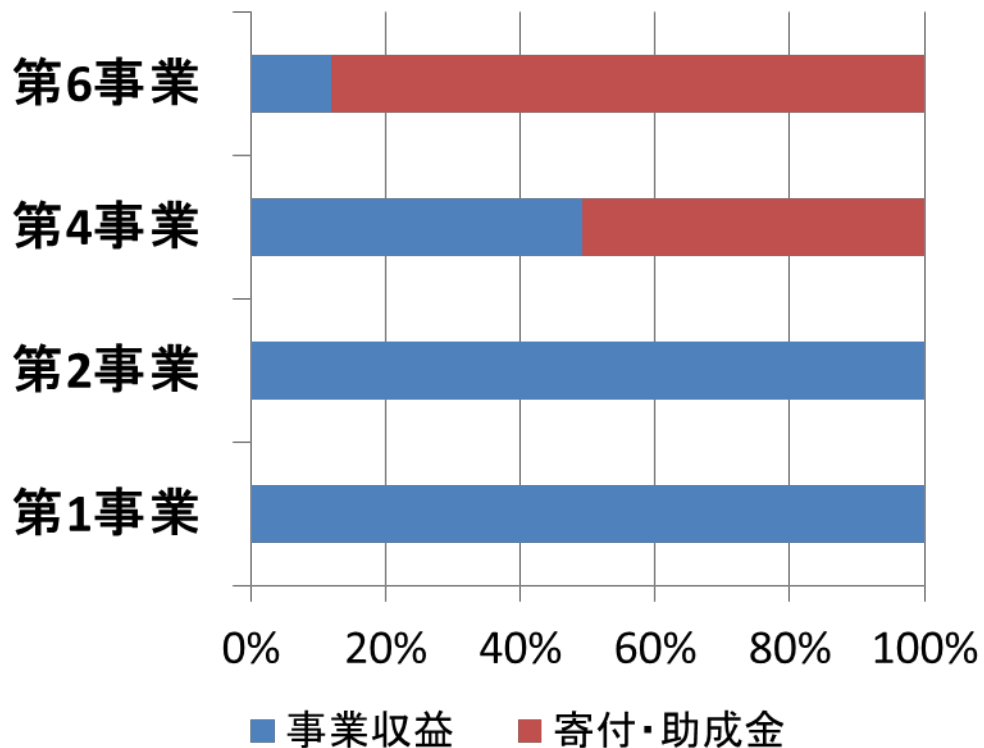


事業の収益内訳

事業収益+寄付+助成金
11,983,148円

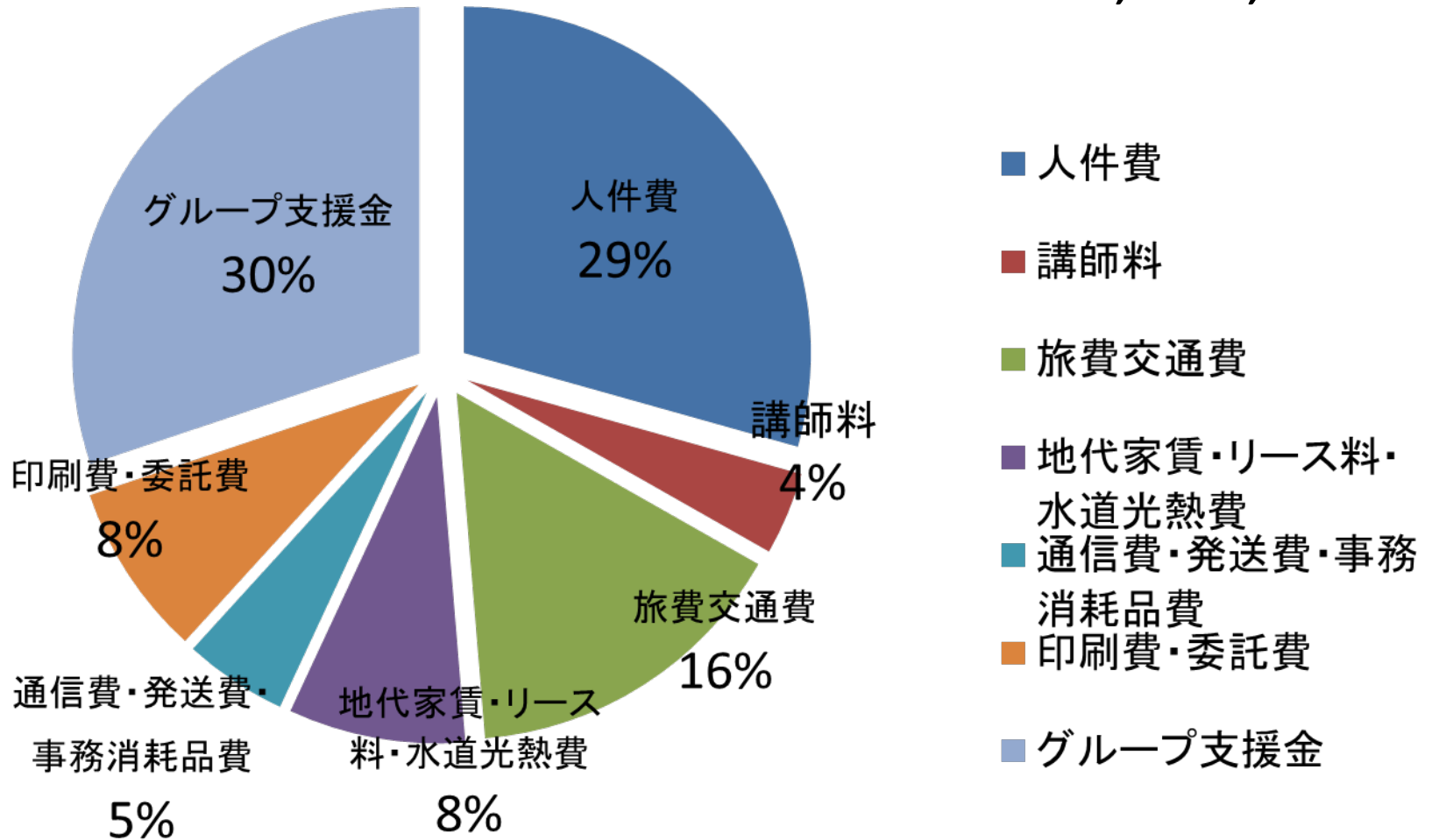


事業/寄付・助成金の比率



2014年度主な経常費用割合

19,877,596円



第2号議案

(1) 2015年度特定非営利活動に係る
事業計画案

中期目標(2013～2018年度)

子どもの“安心・自信・自由”を 社会にいきわたらせる



- おとなに“子どもは無力ではない”と伝える
- 子どもの発達・成長に必要な情報を・・・

予防教育としてのCAP
子どもの育ちを
支援する

おとなが知る
おとなが気づく
おとなが意識する
おとなが行動する

2015年度事業方針

1. 市民発の子どもへの暴力防止のウエーブの起点をつくる
しかけを行う
2. 子どもの安心・自信・自由をサポートできるおとな、
そのおとなを援助するセイフティ・ネットをつくる
しかけを行う

子ども差別の解消を図るための環境づくり

社会発信力の強化による子どもの育ちをサポートする環境づくり

地域資源の連携・協働のシステムづくりと政策提言

子どもへの暴力防止のウエーブを広げるネットワークの構築

地域のCAP活動の活性化のための支援

2015年度事業計画

◆ホームページリニューアル 2015年6月公開!

2014年6月開始。 アンケート及びヒアリング実施・分析⇒
構成検討⇒内容検討⇒レイアウト検討⇒内容の打ち込み作業



Panasonic プロボノチームとの協働



[HOME](#) > [活動紹介](#)

活動紹介



家庭・学校・地域で子どもの安心・安全を守る、そのお手伝いをするのが私たちの活動です。

子どもが自分を大切な存在だと思う感覚を育む種をまきます。

おとな同士、おとなと子ども、そして子ども同士が助け合い、

安心・安全な生活を送るためのアイデアを増やすお手伝いをします。

子どもに いじめ・虐待・性暴力や犯罪など 危険な目にあわないで

安全な環境で安心して成長してほしい・・・

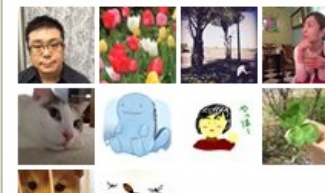
Facebookもチェック



特定非営利活動法人capセンター・japan

いいね!

440人が特定非営利活動法人capセンター・japanについて「いいね!」と言っています。



Tweets

Follow



CAPセンター・JAPAN
@CAPCENTERJAPAN

26 May

「体罰」ってさもからだだけに罰を与えるかのようなイメージ。心とからだはつながっている。だから「体罰」は心にもからだにも深い傷を負わせる。外からのパワーでコントロールしようとするやり方だ。パワーでコントロールするやり方は「体罰」だけじゃない。そこをおとなは意識しなきゃ。

Tweet by @CAPCENTERJAPAN

第2号議案

(2) 2015年度特定非営利活動に係る
事業予算案

予算 修正案

予算案一部抜粋

科 目		金 額		(円)	
II 経常費用	1 事業費				
	(1) 人件費	給料手当 法定福利費 人件費計	4,400,000 220,000 ①4,960,000	⇒4,620,000	① 給与手当と法定福利費の合計が間違いでした。
	(2) その他経費	～			
		その他経費計	15,661,500	②20,621,500	①の修正により、②の事業費が変更となりました。
		事業費計		⇒20,281,500	
	2 管理費				
		経常費用計			③23,546,000 ⇒23,206,000
		当期正味財産増減額			④106,000 ⇒446,000
		前期繰越正味財産額			2,145,218
		次期繰越正味財産額			⑤2,251,218 ⇒2,591,218

①の修正により、③経常費用計、④当期正味財産増減額、⑤次期繰越正味財産額が変更となりました。